

イルカ：52頭が砂浜に 住民ら救出活動 茨城・鹿嶋



砂浜に打ち上げられたイルカを救助する人たち＝茨城県鹿嶋市で2011年3月5日午後1時8分、本社へりから



砂浜に打ち上げられたイルカに海水をかける地元住民ら＝茨城県鹿嶋市の下津海水浴場で2011年3月5日、岩本直紀撮影

茨城県鹿嶋市の下津海水浴場で4日夜、イルカ52頭が砂浜に打ち上げられているのが見つかり、5日朝から地元住民や県大洗水族館（大洗町）の職員らが救出活動をしている。

同水族館によると、打ち上げられたのは、イルカの仲間「カズハゴンドウ」で、体長2～3.5メートル、体重200キロ。

地元住民やサーファーらが毛布や新聞、衣類などを持ち寄り、カズハゴンドウの体を覆って、海水をかけるなどしているが、すでに21頭以上が死んでいるとみられる。

サーフィンで、同海岸を訪れたという東京都板橋区、会社員、水野堅志さん（28）は「無事生きて、元気になってほしい」と話していた。【岩本直紀】

<http://mainichi.jp/select/science/news/20110305k0000e040054000c.html>

ニュージーランドでクジラの群れ座礁、107 頭死亡

- 2011 年 02 月 21 日 11:55 発信地:ウェリントン/ニュージーランド

【2 月 21 日 AFP】ニュージーランド南島の南西沖にあるスチュアート島 ([Stewart Island](#)) で 20 日、ゴンドウクジラ 107 頭が浜辺に乗り上げているのが見つかった。

同国自然保護省 (DoC) が 21 日発表したところによると、クジラを発見したのは浜辺にハイキングに訪れた人びと。48 頭はまだ生きていたが、海に帰せる見通しが立たなかったことから、DoC 当局者が安楽死させたという。

同省は、救出には 10~12 時間がかかるが暑く乾燥した気候ではすぐにクジラが死んでしまうこと、現地に暴風雨が接近しており、救出にあたる職員やボランティアの安全が確保できないことから、安楽死を選んだと説明した。(c)AFP



<http://www.afpbb.com/article/environment-science-it/environment/2786528/6846039>